

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公表番号】特表2012-507308(P2012-507308A)

【公表日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2011-535539(P2011-535539)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

A 61 K 31/7125 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 K 47/02 (2006.01)

A 61 K 47/40 (2006.01)

A 61 K 47/28 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

A 61 K 31/7125

A 61 P 25/00

A 61 K 47/02

A 61 K 47/40

A 61 K 47/28

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月15日(2012.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1 [I D X 9 0 4 5]、配列番号2 [I D X 9 0 5 4]、配列番号3 [I D X 9 0 3 8]、配列番号7 [I D X 9 0 5 8]、配列番号6 [I D X 9 0 2 2]、配列番号4 [I D X 9 0 0 4]、配列番号8 [I D X 9 0 6 0]および配列番号5 [I D X 9 0 5 2]から選択される単離されかつ精製されていることを特徴とするオリゴヌクレオチド。

【請求項2】

少なくとも1つのヌクレオチドが、リン酸主鎖修飾を有することを特徴とする請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項3】

リン酸主鎖修飾が、ホスホロチオエートまたはホスホロジチオエート修飾であることを特徴とする請求項2に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一項に記載のオリゴヌクレオチドを含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項5】

生理食塩水、リポソーム、界面活性剤、粘膜付着性化合物、酵素阻害剤、胆汁酸塩、吸収促進剤、シクロデキストリンまたはそれらの組合せから選択される薬理学的に適合可能でありかつ生理的に許容され得る賦形剤または担体をさらに含むことを特徴とする請求項4に記載の組成物。

【請求項 6】

多発性硬化症の治療および／または緩和のための医薬組成物の製造のための、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の単離されかつ精製されていることを特徴とするオリゴヌクレオチド。

【請求項 7】

多発性硬化症の治療および／または緩和のための医薬組成物の製造のための、配列番号9 [I D X 0 1 5 0] に記載の単離されかつ精製されていることを特徴とするオリゴヌクレオチド。

【請求項 8】

多発性硬化症の治療および／または緩和医薬組成物の製造のための、配列番号10 [I D X 0 9 8 0] に記載の単離されかつ精製されていることを特徴とするオリゴヌクレオチド。

【請求項 9】

前記オリゴヌクレオチドは、少なくとも1つの細胞表面マーカーの発現を下方制御することにより中枢神経系への単核細胞および／または自己攻撃性細胞の流入を阻害または低減するのに有効な量で投与されることを特徴とする請求項6乃至8のいずれか一項に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 10】

中枢神経系の炎症性疾患の治療および／または緩和のための医薬組成物の製造のため、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の単離されかつ精製されたオリゴヌクレオチドであって、少なくとも1つの細胞表面マーカーの発現を下方制御することにより中枢神経系への単核細胞および／または自己攻撃性細胞の流入を阻害または低減するのに有効な量で投与されることを特徴とするオリゴヌクレオチド。

【請求項 11】

前記少なくとも1つの細胞表面マーカーは、CD49d、CXCR3 (CD183)、CCR2 (CD192) およびCCR5 (CD195) から選択されることを特徴とする請求項9または10に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 12】

前記オリゴヌクレオチドは、配列番号1 [I D X 9 0 4 5]、配列番号2 [I D X 9 0 5 4]；配列番号7 [I D X 9 0 5 8]；配列番号3 [I D X 9 0 3 8] から選択されることを特徴とする請求項11に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 13】

前記オリゴヌクレオチドは、配列番号1 [I D X 9 0 4 5] であることを特徴とする請求項11に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 14】

前記少なくとも1つの細胞表面マーカーはCD49dであり、前記オリゴヌクレオチドは配列番号3 [I D X 9 0 3 8] または配列番号7 [I D X 9 0 5 8] から選択されることを特徴とする請求項11に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 15】

前記オリゴヌクレオチドは、VEGFの生成を低減することにより中枢神経系への単核細胞および／または自己攻撃性細胞の流入を阻害または低減するのに有効な量で投与されることを特徴とする請求項6または10に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 16】

前記オリゴヌクレオチドは、配列番号1 [I D X 9 0 4 5] および配列番号10 [I D X 0 9 8 0] の中から選択されることを特徴とする請求項15に記載のオリゴヌクレオチド。